

2023年6月14日

— そうだ、選挙に行こう！政策連合大集会 —
からのメッセージ

私たちの憲法は次の言葉から書き始められています。

「日本国民は、正当に選挙された国会における代表者を通じて行動し、（中略）主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。」

私たちの政府を私たちの一票で作り上げる。これが国民主権、議会制民主主義の基本です。

政策連合＝オールジャパン平和と共生は、私たちにとって何よりも大切な基本政策を明確にして、その基本政策を共有する市民と政治勢力の連帯を呼びかけています。私たちが求める基本政策を現実の政治のなかで実現するには、この政治勢力が国会で多数の議席を獲得して政権を作り出すことが必要です。

このことを明確な目標に据えて、その実現のためにみなで力を合わせてゆこうではありませんか。

私たちが掲げる五つの最重要の基本政策があります。

1. 日本を「戦争をする国」にせず、「戦争をしない」平和主義を堅持する
2. 原発を廃止する
3. 経済政策を「弱肉強食」追求から「共生」追求に転換する
4. 安心・安全の食料の安定国内確保を実現する
5. 命の尊さを心に刻み医薬品による悲惨な被害を発生させない

この基本政策を共有する市民と政治勢力が連帯して、来る衆議院総選挙を勝ち抜いて参りましょう。

現在の選挙制度では、当選者がただ一人の小選挙区が基軸に置かれています。この選挙制度の下で国会過半数議席を獲得するには強力な選挙協力が必要不可欠です。基本政策を共有する政治勢力が連帯して候補者を一本化すること、そうすれば勝利を勝ち取ることができます。そのためには、党派の壁を超え、主権者である私たちが選挙協力を主導していかなければなりません。

その連帯を実現させることができれば、必ず、日本政治を変えられる。いえ、変えてゆかねばなりません。

弱肉強食・利益至上主義の戦争創出・食料支配・原発推進で世界は闇に包まれ、平和と暮らしは脅かされています。いまこそ日本政治を刷新して、誰もが笑顔で生きてゆける社会を実現してゆきましょう。

この国の政治は私たち市民が決める。私たち市民の手で、日本を平和で明るく、誰もが笑顔で生きてゆける社会に、必ず変えてゆくことを高らかに宣言して、「そうだ、選挙に行こう！政策連合大集会」からのメッセージとします。

了